

バイオディーゼル燃料取組実態調査の概要 (平成21度実績)

* 調査対象事業体

- ・バイオディーゼル燃料原料の回収・購入、バイオディーゼル燃料の製造、利用に取り組んでいる全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会会員及び会員の傘下団体
- ・バイオディーゼル燃料施策・事業に取り組んでいる市区町村
- ・その他バイオディーゼルに取り組んでいる事業者等

* 調査対象期間

- ・平成21年4月1日～平成22年3月31日における実績
(調査時期:平成22年7～8月)

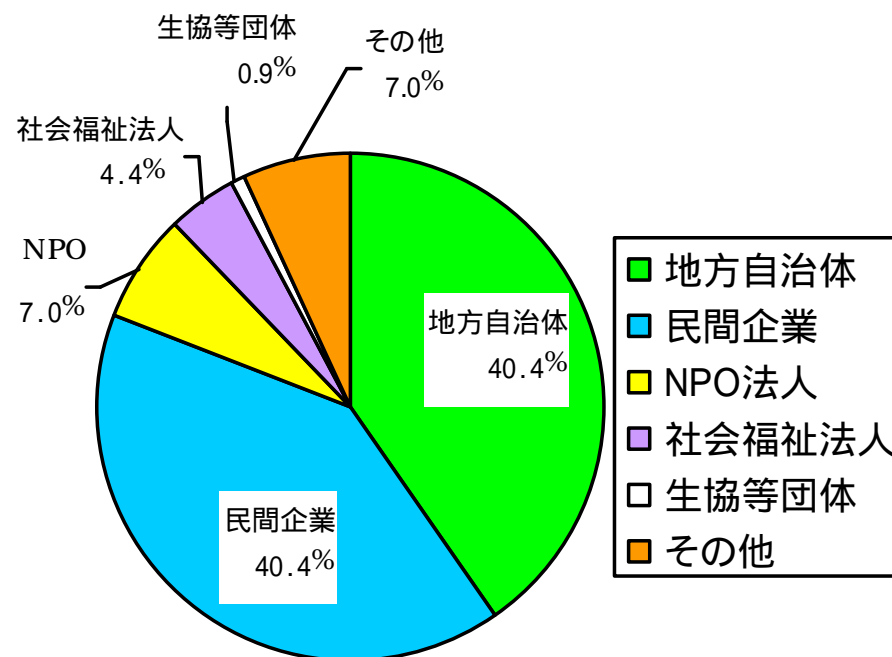
* 調査実施者

- ・全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会

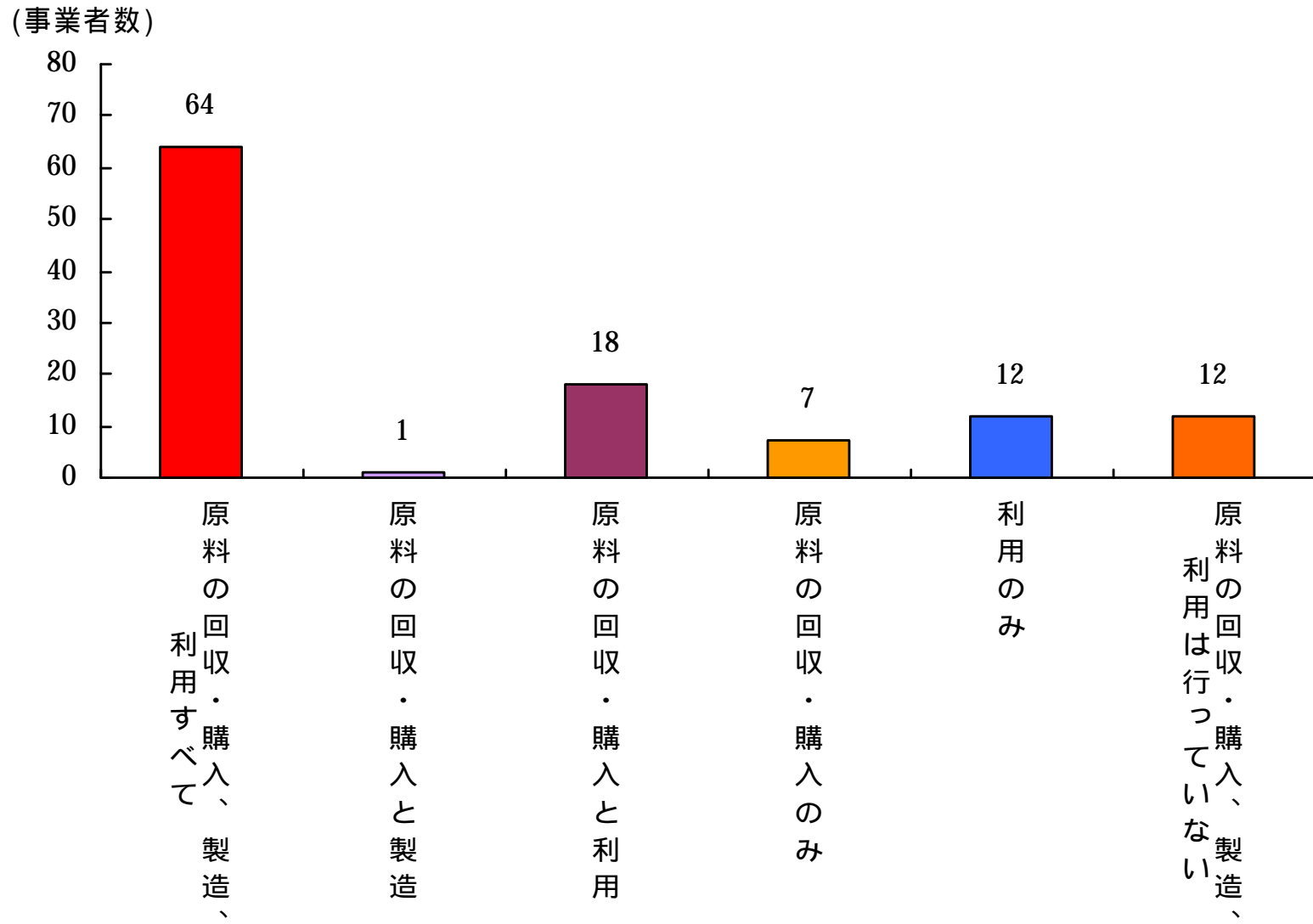
バイオディーゼル燃料の取組主体の組織

平成21年度実績のある114事業者から回答があった。
(平成20年度の回答数は118)

組織	事業者数	割合(%)
NPO法人	8	7.0
民間企業	46	40.4
地方自治体	46	40.4
社会福祉法人	5	4.4
生協等団体	1	0.9
その他	8	7.0
合計	114	100.0

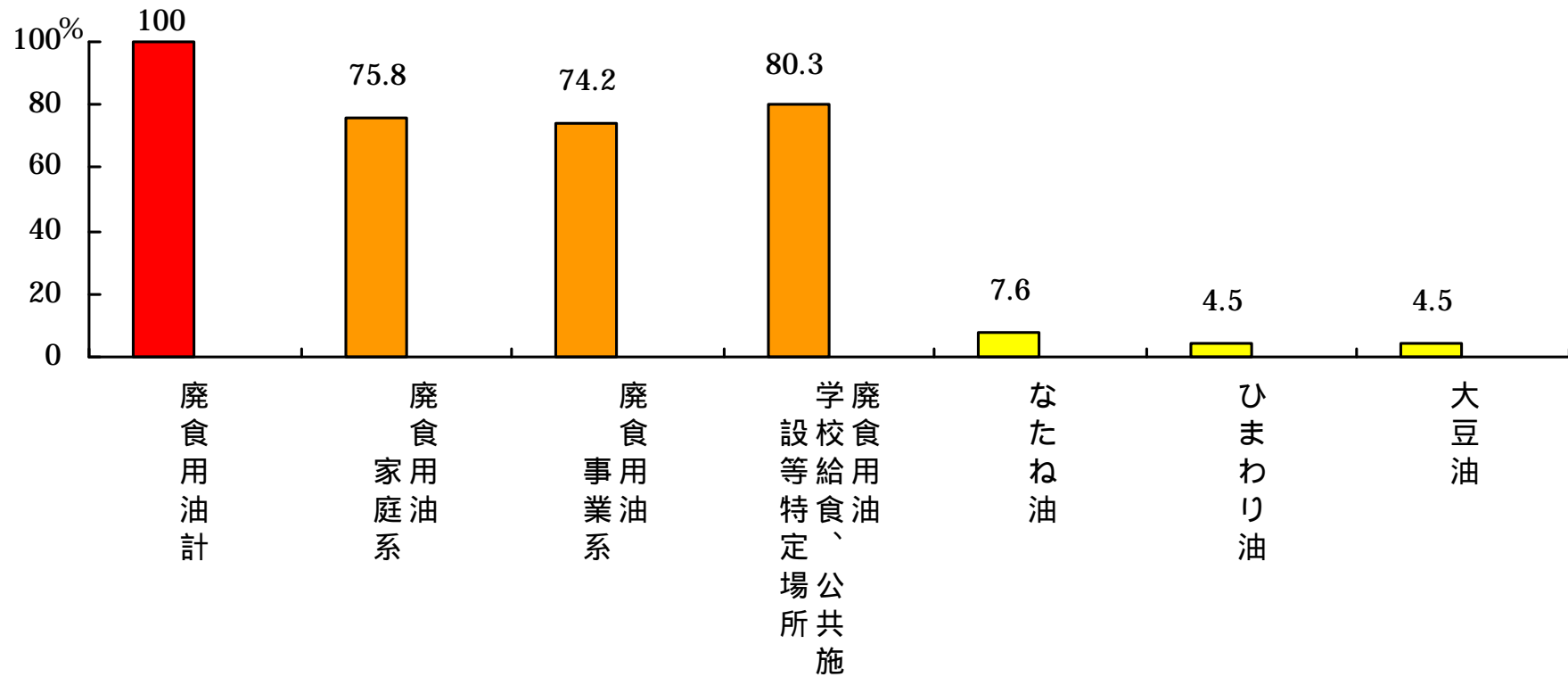


取組形態



バイオディーゼル燃料原料の種類

全製造者(66事業者)が「廃食用油」を利用している。
前年度から原料調達先に大きな変動はみられない。



製造量と製造コスト

製造量：8,568k（該当事業者66/平均130k）

製造率：91.8%（該当事業者66相加平均）

・原料から製造したバイオディーゼル燃料数量の割合

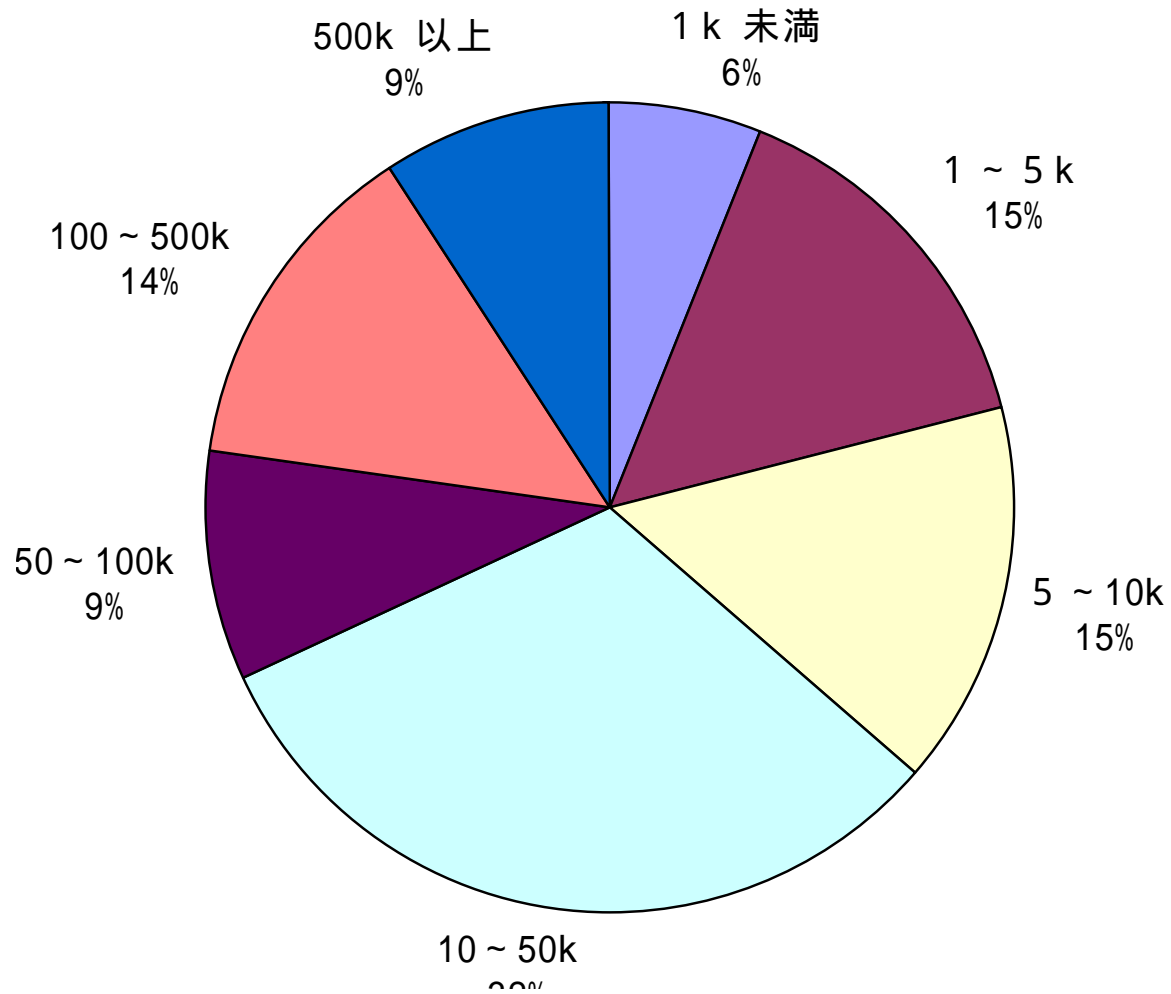
製造コスト：99.8円/（協議会推定概算価格）

・回答66事業者単純平均は、162.7円/であったが、回答のうち特に高額的事象（人件費や減価償却の高額回答）を除いた場合の協議会が推定した概算水準価格である。

* なお、事業者の稼働日数は、平均155日であった。

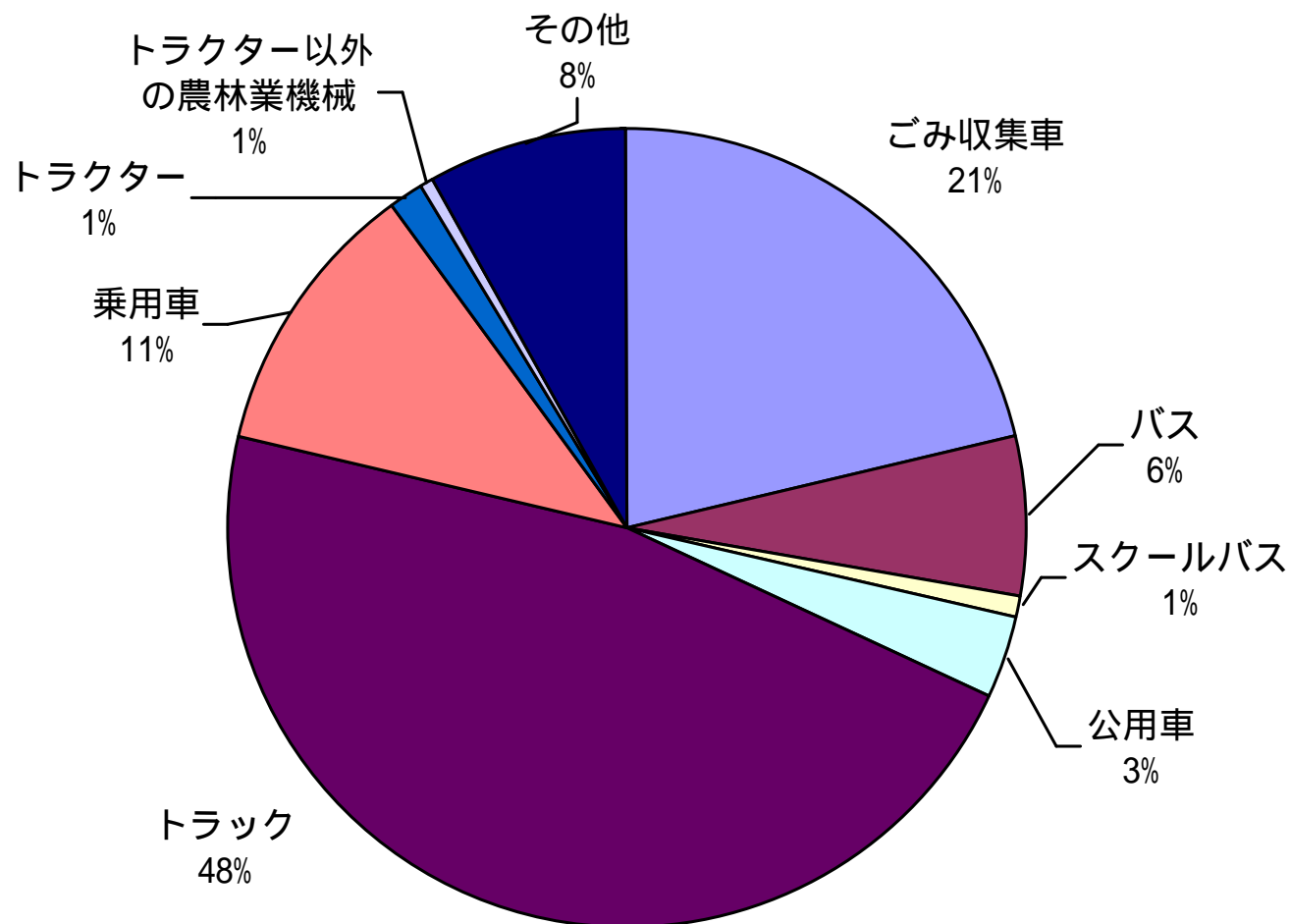
バイオディーゼル燃料製造量の規模(年間)

製造量の規模としては、年間10～50kが多く、それ以外では平均化されている。



車両等の種類別利用割合

67事業者が利用していると回答し、総数は2,126台。特にトラックが配送事業者団体の取組増加等が起因したとみられ、993台と前年より300台以上増えた。



協議会活動に対する要望 (回答事業者105 / 複数回答)

事業者からの要望

- ・税制の見直し
- ・バイオディーゼル燃料に関する情報提供や相談・コンサルティング
- ・製造及び利用(含:用途拡大)に関する運用指針

などを挙げる事業者が多く、原料に関する要望も含め多岐にわたっている。

